

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年
令和2年1月15日 第3号

～進路学習の質問について～

12月に1回目の進路学習を行いました。今回は、そこで出た様々な質問についてお答えしたいと思います。ただし、全ての質問の返答をこの通信だけでは載せきれない部分もあります。前回の通信でもお伝えしましたが、通信で返答するものもあれば学年全体やクラス毎の進路学習で返答するものもありますので、ご了承下さい。

※質問に関する返答の文章は、生徒向けの文章で書かせていただきます。

Q1.高校受験までにどのようなことをしたら良いですか？

A1.高校受験(受験)までにしないといけないことは色々ありますが、「勉強」「高校調べ(オープンスクールの参加も含む)」「将来何をしたいか」の最低3つは考えたり行動したりする必要があります。

「勉強」に関しては、入試で学力が必要なことはもちろんのこと、高校に入学した後も授業があり、学力は必要になります。多くの高校ではテストの点数が基準を満たさない場合、「留年」というものがあります。最悪、入学が出来ても卒業出来ないケースが出てきます。せっかく入学しても卒業できなければ頑張った意味がありません。だからこそ、今から「勉強」を可能な限りすることが大切になります。

「高校調べ」に関しては、自分が通うに当たって「学校の雰囲気」「家からの距離と交通手段」「部活動」「高校卒業後の進路」などはとても大切になります。入学してから「知らなかった」と言っても誰も責任を取ってはくれません。自分の大切な人生なので、しっかりと多くのことを調べ、オープンスクールで確認してください。

「将来何をしたいのか」ということもとても大切なことです。もちろん、将来の夢がはっきりしているのが高校選びでは一番のポイントになりますが、まだまだ将来の夢が具体的でない人もいます。その時は、例えば「どんな大学に行きたいのか」や「部活動をどこまでやりたいのか」、「自分はどんなことに興味があるのか」などがポイントになるかも知れません。「〇〇な大学に行きたい」があればそれをもとに各

高校の進路実績を調べることで行きたい高校が見つかるのではと思います。「部活動がしたい」であれば、自分がしたい部活動を中心に、各高校の部活動の成績を調べることで行きたい高校が見つかります。「自分はどんなことに興味があるのか」で、例えば、ものづくりが好きな場合は「工業科」、事務や経営などに興味がある場合は「商業科」、将来は海外で活躍したいとなれば「英語」に特化した学校など、行きたい学校に的を絞れるようになります。

Q2.複数志願選抜がよく分からないのですが？

A2.公立の入試については「単独選抜」と「複数志願選抜」があります。複数志願選抜は第2学区内の公立高校で、「普通科」または「総合学科」を受検するときに用いられる選抜方法です。出願方法は「第1志望のみ」か「第1志望+第2志望」を選べます。どちらの方法でも第1志望に対して加算点の20点は適用されます。しかし、注意事項がいくつかあります。例えば第1志望不合格、第2志望に合格した場合は第2志望の学校に行かなければいけません。行く意思がない場合は始めから必ず「第1志望のみ」での受検をしてください。また、単独選抜の対象校と複数志願選抜の対象校を同時に希望することは出来ません。ちなみに**複数志願選抜の対象の高校**は、以下の通りになっています。(令和2年度兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱より抜粋)

学区	普通科 [学年制]	普通科 [単位制]	総合学科
第2学区	尼崎小田・尼崎・尼崎北・尼崎西・伊丹・伊丹西・川西緑台・川西明峰・川西北陵・猪名川・鳴尾・西宮北・西宮甲山・西宮南・宝塚・宝塚東・宝塚北・宝塚西・北摂三田・三田西陵・柏原・篠山鳳鳴・市立尼崎・市立尼崎双星・市立西宮・市立西宮東・市立伊丹	尼崎稲園 西宮 三田祥雲館	武庫荘総合 伊丹北 西宮今津 有馬

～生徒たちに伝えたい言葉～

一生懸命だと、知恵が出る
中途半端だと、愚痴が出る
いい加減だと、言い訳が出る

by 武田 信玄